



# 「女性に対する暴力」を許さない社会へ

話してみませんか？心の中で、悩んでいること...

相談したことが  
ばれるのが怖い

周りに  
知られたくない

相手の行為は  
愛情表現だ

相談するほど  
じゃない

自分さえ  
我慢すればいい

私が  
悪いから...

恥ずかしくて  
誰にも言えない

平成29年度に、内閣府が行った男女間における暴力に関する調査結果では、配偶者から暴力を受けたことがある女性は約3人に1人、

## 暴力の実態

「JK(女子高生)ビジネス」など、若い女性が被害を受ける問題も起きています。

## 女性に対する暴力の各種相談窓口

<p><b>女性相談(市庁舎3階、男女共同参画推進課)</b></p> <p>☎ 65・4230(女性相談サポートライン)</p> <p>■受付日時/月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 8時45分～17時30分</p>
<p><b>市民相談室「女性相談の日」(市庁舎1階)</b></p> <p>☎ 65・4200</p> <p>■受付日時/毎週木曜日、8時45分～17時30分</p>
<p><b>帯広警察署生活安全課(西1北1)</b></p> <p>☎ 25・0110</p> <p>■受付日時/月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 8時45分～17時30分</p>
<p><b>北海道立女性相談援助センター(札幌市西区西野3-9)</b></p> <p>☎ 011・666・9955</p> <p>■受付日時/月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 9時～17時</p> <p>※配偶者からの暴力(DV)に係る電話相談は、下記の時間も受け付け。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●月～金曜日(祝日、年末年始を除く)、17時30分～20時</li> <li>●土・日曜日・祝日(年末年始を除く)、9時～17時</li> </ul>

## 女性に対する暴力とは



暴力は、加害者と被害者の性別や間柄を問わず、決して許されるものではありません。

特に、夫やパートナーからの暴力であるドメスティックバイオレンス(DV)やデートDV、性犯罪、売買春、セクシュアルハラスメント(セクハラ)、ストーーカー行為、人身取引など、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。また、近年では、「AV(アダルトビデオ)出演強要」「JK(女子高生)ビジネス」など、若い女性が被害を受ける問題も起きています。

そのうちの約7人に1人は、命の危険を感じた経験があると答えています。

また、実際相手から暴力を受けた女性は約5人に1人、特定の相手からの執拗なつきまといを受け、た女性は約9人に1人、無理矢理に性的行為などをされた被害経験がある女性は約13人に1人となっています。

一人で悩まないで安心して相談を

DVを受け続けたり、セクハラや性的被害などの犯罪に遭うと、徐々に無気力になって、自分の感情や自分自身を大切にしようという気持ちを無くしてしまうこともあります。また、自分への自信を失って、「私が我慢すれば」「悪いのは自分だ」と、冷静に判断することができなくなることもあります。市や関係機関では、女性に対するさまざまな暴力への相談窓口を開設しています。秘密は厳守しますので、一人で悩まず、安心して相談してください。

## 問い合わせ

男女共同参画推進課(市庁舎3階、☎65・4134)



## 暴力被害に遭ったら



帯広市 DV 検索

ています。

## 一人で悩まないで安心して相談を



## データで知る帯広

**9月末の人口と世帯数**

人口▶167,033人(前月比-43人)

男▶79,664人  
女▶87,369人  
世帯▶87,625世帯(前月比+15世帯)

**9月の火災発生件数**

5件(前月比+3件)

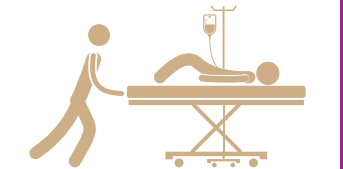
**9月の家庭ごみ排出量**

ごみ量 2,345t(前年同月比-44t)

資源ごみ(Sの日)量 538t(前年同月比-40t)

## 今月の紙面

みんなで守ろう地域の救急医療……2



本当に必要なときに、必要な医療を安心して受けられるよう、救急医療機関の適切な利用にご協力ください。

未来へと命を繋ぐ189 児童虐待防止推進月間 5

地区懇談会～市政の説明と意見交換～……10

安心安全メモ……13